

政務活動費連絡会記録

1 開催日時 令和8年10月13日(火) 11:06~11:22

2 開催場所 新庁舎8階 議会中会議室

3 出席者

(1) 出席議員

座長 武田 翔

委員 山口 美津夫、ます 晴太郎、大村 悠、市川 さとし(代理出席)、古賀 照基、
吉川 さとし、藤井 深介、松長 泰幸

(2) 議会局出席者

局長 落合 嘉朗、副局長兼総務課長 小泉 純一、管理担当課長兼副課長 望月 俊哉
経理課長 奥澤 陽一、議事課長 山崎 智之、政策調査課長 佐藤 恭子

4 議題

- (1) 最近の他会議の取組事例の調査について
- (2) 生成AIに係る経費について

5 会議記録

(武田座長)

ただ今から、政務活動費連絡会を開催いたします。

この際、議会局から報告を求められております。どうぞお話しください。

(経理課長)

それでは政務活動費にかかる証拠書類等のホームページ公開についてご報告いたします。
報告資料「令和7年度の政務活動費に係る証拠書類等のホームページ公開について」を
ご覧願います。

「1 公開対象」ですが、今年度のホームページ公開対象につきましては、令和7年度の4月交付分から3月交付分まででございます。

次に「2 交付概要」につきましては、「(1) 政務活動費交付金の交付方法」は「会派交付」が5会派、「議員交付」が5会派、「会派及び議員交付」が1会派で、資料記載のとおりでございます。

次に、「(2) 交付額及び交付確定額」につきましては、資料記載のとおりでございます。なお、交付額から交付確定額を差し引いた2,716,464円については県に返還されております。

次に「3 ホームページ掲載内容」につきましては、別紙1及び別紙2のとおりでございますので、後ほど、ご覧いただければと思います。体裁等については、現在公開している令和6年度分と同様でございます。

最後に「4 ホームページ公開までのスケジュール」につきましては、資料記載のとおりでございます。9月28日から会計帳簿及び証拠書類等の書面による閲覧を開始しておりますが、来月、11月27日金曜日に、当該書類をホームページに掲載する予定でございます。

私からのご報告は以上でございます。

(武田座長)

お聞きのとおりでありますが、質問等がある方はどうぞ。

(なし)

それでは、このことについてはご了承ください。

それでは、本日の議題に入ります。

まず「最近の他議会の取組事例の調査について」です。

このことにつきましては、前回の会議において、自民党から「政務活動費の書類作成から議長提出までの事務作業を効率的に行うためのオンライン申請システムの導入」について、詳しい説明をしていただきたいの発言がありました。つきましては、議会局から説明をお願いします。

(経理課長)

それでは、お手元の資料「最近の他議会の取組事例～政務活動費のオンライン化について」ご説明いたします。

まず「1 現状」についてです。地方自治法の改正により政務活動費に係る収支報告は、電磁的記録でも議長に提出できることになりました。この改正を受け、地方議会の中には、収支報告書等の提出において、政務活動費のシステムを導入し、オンライン化を進める議会が出てきております。

次に「2 本県議会の状況」についてです。令和5年度の団長会申し合わせにより、当面、書面で議長に収支報告書等を提出することとなっております。

次に「3 システムについて」ですが、政務活動費のシステムは、支出伝票の作成から最終的な収支報告書等の議長提出までの事務作業をオンライン化し、議員及び事務局双方の事務の効率化を図るためのものがございます。

次に「4 先行導入議会」ですが、埼玉県議会において、政務活動費に特化したクラウド型オンライン申請システムについて、2年間の実証実験の後、本年4月から本格導入しております。

次に「5 システム導入の効果」についてです。埼玉県議会事務局からは、

- ・支出伝票等の記載漏れや誤記載などの修正が必要な場合、電子上でやり取りができるため、修正に要する時間が短縮された。
- ・時間や場所を気にせずに処理が可能のため、やり取りがスムーズになった。
- ・修正経過が履歴として残るため、修正箇所や内容が分かりやすくなった。
- ・会派及び議員と事務局間の連絡の時間や労力が軽減された。
- ・事務局の負担も軽減されたと聞いております。

この資料の説明は以上でございます。

続きまして、政務活動費システムの全体フローと主な特徴について、ご説明いたします。お手元の参考資料「政務活動費システムの全体イメージ図」をご覧ください。

まず、左側の入力・申請者の図についてですが、こちらは議員や会派職員が行う手続きでございます。

システム上にて支出伝票を作成し、証拠書類等と共にクラウド上にアップロードしていただきます。証拠書類等はレシートの写真などを撮って添付するようになっています。

次に中央の図についてですが、クラウド上にアップロードされた支出伝票等を事務局で確認して、必要があれば会派及び議員に修正等を依頼します。修正等を求められた会派及び議員は、必要な修正等を行い、改めてアップロードします。

このクラウド型システムについては、高度なセキュリティのもとに、収支データの保存・管理ができ、またマルチデバイス対応が可能とされています。

次に、右側の管理・公開の図についてですが、こちらは収支報告書、会計帳簿、領収書その他証拠書類の議長提出をオンライン上で行います。今までは紙で会派及び議員と事務局がやり取りしていましたが、すべてシステム上で完結することとなります。

事務局においては、提出された書類中の非公開情報のマスキング作業をシステム上で行うことができるなど、WEB公開用のデータをシステムにて作成することができるようになります。

最後に、図の左側にお戻りいただいて、下の部分、システムの特徴ですが、すべてシステム上で行うことによる事務負担の軽減、議長提出書類のインターネット公開による透明性の向上、ペーパーレス化、コストの削減などが挙げられています。説明は以上です。

(武田座長)

自民党さん、いかがでしょうか。

(山口委員)

システムの導入の関係についてですが、全議員が導入されているのか、まずお聞きします。

(経理課長)

確認いたしました6月時点では、8割程度の議員がシステムを利用しており、残りの議員につきましては、従前どおり紙で運用していると聞いております。

(山口委員)

8割の議員が使っているとのことですが、残りの議員とのギャップはあるだろうと思います。

これは埼玉県議会の例だと思いますが、他の議会では導入は進んでいるのでしょうか。

(経理課長)

都道府県議会では、埼玉県議会だけがこのシステムを導入しておりますが、市議会レベルだと、もう少し事例がございます。

(山口委員)

分かればですが、8割は導入し、残りは紙とのことで、様々なギャップがあるので、事務局も大変になろうかと思いますが、そのようなことから課題でも聞いていたら教えていただけますか。

(経理課長)

埼玉県議会では、一部の会派が、まだ紙で継続して行くとのことを確認しておりますが、事務局としては将来的には、全議員、全会派が参加していただきたいとの方向で考えているとのことでした。

(武田座長)

他に何かご質問はございませんか。

(なし)

特になければ、次の議題に移ります。

次の議題は、「生成AIに係る経費について」です。具体的には、生成AIの利用に係る経費について、「政務活動費の指針」の中に、充当できるものとして明記するかどうかであります。このことについては前回9月17日の会議において、現状及び充当事例について説明がありました。

については、政務活動費の指針の中に生成A Iにかかる経費について充当できるものとして明記するかどうか、また明記する場合、経費区分は何が適当か、充当する場合に条件をつけるか等について各会派のご意見等をお伺いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

(山口委員)

充当することが、政務活動に有益となってくれば採用する会派や議員が増えてくると思いますが、充当する際には金額や種類で政務活動に制限がかからないようにしていただきたいことと、経費区分については、調査研究や広報等を考えると従前どおり事務費で考えたかどうかというのが我々の考えです。

(古賀委員)

今、生成A I もいろいろな種類があることから、そういったことを加味した上で、山口委員がおっしゃったような形が妥当かなと思います。

(吉川委員)

方向性は同じです。会派の中では、明記することで、分かりやすくなるというところは良いが、逆に上限等を設けることで使いづらくなるというところが反って心配という声がありました。

A I も様々な進化やいろいろな種類も出てきておりますし、今後議員活動をする上で活用する方も増えてくると思いますので、使いづらくならないような形でお願いしたいと思います。

(藤井委員)

政務活動をサポートするものとして充当すべきと考えております。経費区分については、事務費でお願いしたいと思います。

(松長委員)

皆さんがおっしゃっているように充当する方向で結構です。経費区分についてもいろいろ考えられると思いますが、事務費で良いと思います。

(武田座長)

お聞きのとおりであります。他に、何かご発言はありませんか。

(なし)

特にないようですので、以上で、本日の日程は終了することとし、次回、引き続き協議を行います。

次回の会議では、まず「これまでの政務活動費に係る見直しの振り返り」と「最近の他議会の取組事例」について、各会派の受け止めや見解等をお聞かせいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

次回は、11月17日 火曜日、議会運営委員会終了後に開催したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

なお、開催通知につきましては、ただ今ご出席の皆様には、省略させていただきたいと思いますので、ご了承願います。

それでは、政務活動費連絡会を閉会いたします。

お疲れさまでした。